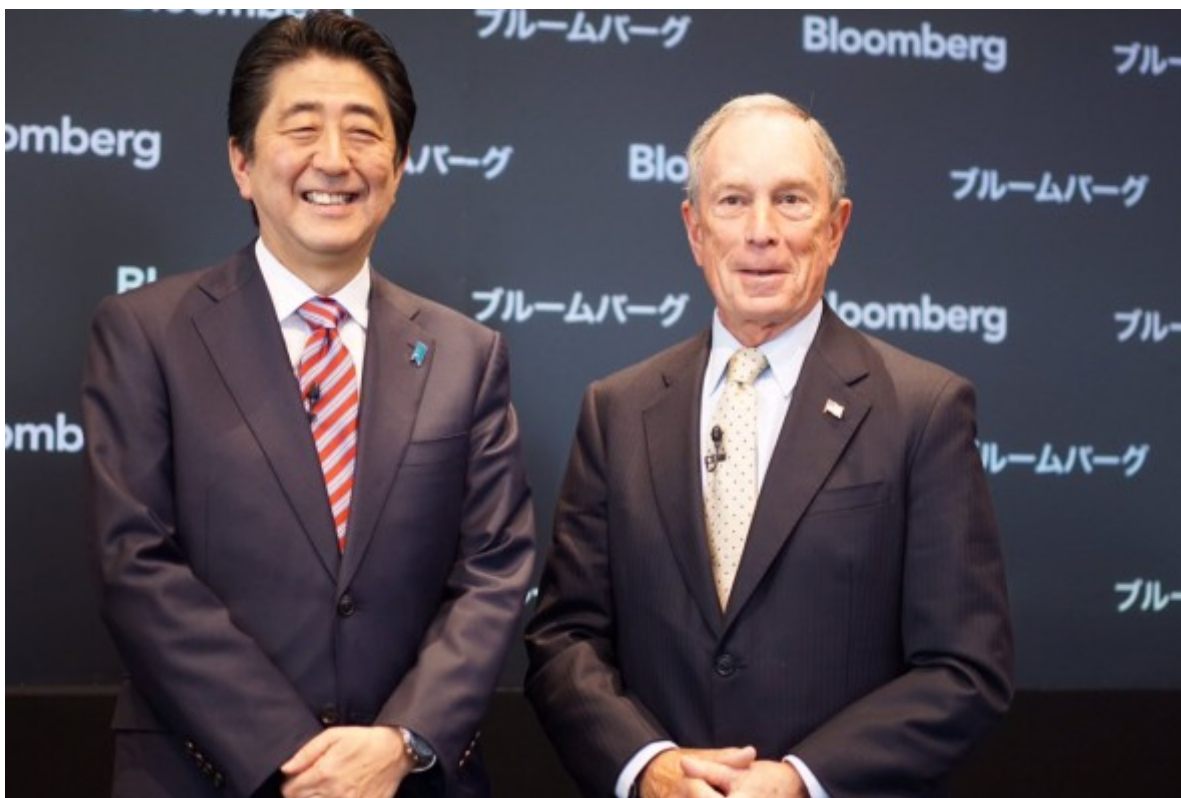


安倍首相、ブルームバーグ本社で講演

2015 年 9 月 29 日

安倍晋三首相は 29 日にニューヨークのブルームバーグ本社で行われた 250 名以上の投資家へ向けた講演で、コーポレートガバナンスの向上とともに経済を力強い成長軌道に乗せるため日本銀行との協働への意欲を表明しました。また、企業買収も増えていると述べました。



安倍首相は、「日本国内で長く続いたデフレマインドは払拭された」とした上で、「経済改革はバランスがとれている。過去 2 年間で長く任期を務める外部取締役を持つ企業の数は倍増している」と述べました。

また、日本の女性の就労者は過去 3 年間で 90 万人以上増えており、経済協力開発機構 (OECD) のデータによると現在日本の女性就労率は米国よりも高いことがわかったと指摘した上で、「日本は可能性に満ち溢れている。日本の持つ能力、新たな黄金時代の幕開け、今後 5-10 年の展望は極めて有望だ」と述べました。

マイケル・ブルームバーグ前ニューヨーク市長は、「日本は技術革新の推進力であり、世界第 3 位の経済大国であり、世界経済成長の原動力だ。今日、グローバル投資家の多くが、新たな期待感を持って日本市場を見ている」と述べました。



また、マイケル・ブルームバーグ前ニューヨーク市長は、「日本はブルームバーグにとって最重要市場の一つ。1983年、ブルームバーグは最初のターミナルを日本で販売し、その2年後に創業開始した。1987年にアジア最初のオフィス開設を検討した際には東京を選んだ。以来東京オフィスは成長を続けており、その時初めて採用した社員が今も東京オフィスで働いている。現在、日本の株式市場への投資は60%以上が外国人投資家によるものだ。ブルームバーグは、そうした投資家にニュースやデータを提供するとともに、本日のように人々を集めることで、投資への賢明な判断を下す一助となることのできる独自の存在となっている」と述べました。